

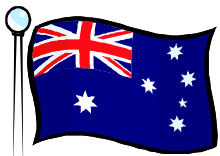


自己紹介ゲームのひとつ。自分の名前、ニックネーム、最近うれしかった事の3つを、5分間でなるべく多くの人に自己紹介するゲームです。お互いを知り合うことで、和やかな雰囲気生まれました。

名取市中学生海外派遣事業とは
名取市中学生海外派遣事業は次世代を担う青少年の育成を目的に、平成三年度から始まり、平成三年度から始めました。カナダのダンスミュージア中学校との交流を皮切りに、平成六年度の派遣事業からオーストラリアの学校と一年交代で交流をしています。平成十九年度の派遣先はオーストラリア。ピクトリア州モナッシュ市にあるマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジを訪問します。

オリエンテーション合宿とは
オリエンテーション合宿は平成十八年度の派遣事業から、新たな研修メニューとして加わりました。一泊二日の集団生活を通じて、派遣事業の目的や心構えを学び、派遣団としての自覚とチームワークを高めることを目的としています。

この海外派遣事業は市内在住の中学一年生を対象としているため、団員たちの所属している学校は市内五つの中学校のほか、私立中学校まで様々です。団員たちはまず、自己紹介シートを作って、その内容を五分間でどれだけ沢山のの人に紹介できるか挑戦。続いて「血液型」「生まれた月」などが同じ人を



探し出すゲームで緊張をほぐすことから始めました。最初は知らない者同士でよそよそしい雰囲気でしたが、知り合うことになって笑顔になり、違う中学校の生徒とも仲良くなることができました。そのほか、各班を一つの「国」として、各国独自のルールや習慣を作り、互いの国を行き来して文化や習慣の違いを体験する「異文化体験ゲーム」で、言葉や文化の違いを受け入れることや、どのように伝えれば伝わるのかなどについて学びました。このほか、青年海外協力隊OBの講義や平成十七年度派遣事業に参加した先輩たちの話を伺うなど、充実した二日間となりました。

ニュース

平成十九年度名取市中学生海外派遣事業 オーストラリア派遣へ向け始動!

平成十九年度の名取市中学生海外派遣事業の団員二十二人が決定しました。市内在住の中学二年生(男子五人、女子十七人)で構成される派遣団は、十二月十五日(土)から十六日(日)にかけて行われたオリエンテーション合宿で活動を開始。今後、八回に渡る事前研修でホームステイの心構えなどを学びながら、三月のオーストラリア派遣に向けて準備をします。今回はオリエンテーション合宿での活動を紹介します。

カナダの友達がやってくる!

ジャーニー・ミドルスクール訪問団 ホストファミリー・通訳ボランティア募集

名取市中学生海外派遣事業で交流を行っているカナダの「ジャーニー・ミドルスクール」(ブリティッシュ・コロンビア州スーク市)から20人の生徒がやって来ます。カナダの友達と家族ぐるみの心温まる交流や、通訳ボランティアをしてみませんか。



【来訪日程】

平成20年3月16日(日)~21日(金)(予定)

【申し込み方法】

名取市総務課広報広聴係に電話で申し込んでください。後日、関係書類をお送りします。申込者は「名取市国際交流事業協力者」として市に登録していただきます。

応募多数の場合は、年齢の近いお子さんのいるご家庭を優先させていただきますので、ご了承ください。

【応募締め切り日】

平成20年1月18日(金) 問い合わせは、総務課広報広聴係(電話022-384-2111 内線317・327)へ。

みんなの絵で歓迎しよう♪

カナダ絵画コンクール・絵てがみコンクール

各コンクールともジャーニー・ミドルスクール訪問団が選ぶ「ジャーニー・ミドルスクール賞」、「国際交流実行委員会賞」のほか、全員に参加賞があります。

皆様のご応募をお待ちしております。

絵画コンクール

【応募対象】 市内に在住の人
【テーマ・イメージ】 「カナダ」(「カナダの人・動物・自然と仲良くしたい」など、カナダへの思いを表現している絵)

【規格】 画材や大きさは自由

【部門】

- (1)一般の部(高校生以上)
- (2)中学生の部
- (3)小学校高学年の部(4年生~6年生)
- (4)小学校低学年の部(1年生~3年生)

作品は各種行事などで展示するほか、市で発行する刊行物・ホームページで紹介する場合があります。作品は展示会終了後に返還します。

じょうほう 掲示板

今号もなとり国際交流ニュースレターをお読みいただきありがとうございます。

このニュースレターでは海外での交流体験だけでなく、市内で国際交流や多文化共生に関わっている方の活動や、名取にお住まいの外国人の方を紹介

絵てがみコンクール

【応募対象】 市内に在住の人

【テーマ・イメージ】

自由。(応募作品は返還せずに、カナダの生徒たちへのお土産とさせていただきます。)

各コンクールの応募方法

絵画は裏面に、絵てがみは作品を封筒に入れその封筒に、住所、氏名、電話番号を記入の上、名取市国際交流実行委員会事務局(総務課内)または各地区の公民館に提出してください。

各コンクールの応募締め切り日

平成20年2月8日(金)
申し込み・問い合わせ
名取市国際交流実行委員会事務局
(総務部総務課広報広聴係内)
電話 022-384-2111 内線 317
FAX 022-384-9030
E-mail soumu@city.natori.miyagi.jp

するなど、私たちの身近な話題も取り上げていきたいと考えています。名取市の国際交流に関するご要望もお待ちしております。

【情報はこちらへ】 〒981 1292(住所記入不要)
名取市総務部総務課広報広聴係
電話 384-2111 内線 317 FAX384-9030
Eメール: soumu@city.natori.miyagi.jp



広大な敷地に建つマウントウエイバリー校。キャンパスはジュニア・スクールとミドル/シニア・スクールの2個所に分かれています。



家庭科の調理実習。一番右側は日本でも見慣れたしょうゆのびん。

素晴らしい教育環境で育まれる交流の心 マウントウエイバリー・セカンダリーカレッジ

マウントウエイバリー校は
どこにあるの？
マウントウエイバリー校は、オーストラリアの南東部に位置するビクトリア州の州都メルボルンから、車で東に四十分程度の場所にあります。モナッシュユ市に所在していますが、学校は州立です。
校内は七年生と八年生（日本の中学一年・二年生にあたる）が通うジュニア・スクールと、九年・十年生のミドル・スクール、十一年・十二年生のシニア・スクールに分かれています。

日本語教育
オーストラリアではLOTE (Languages other than English: 英語以外の言語) プログラムという、外国語教育が行われています。
マウントウエイバリー校では日本語とドイツ語の授業を選択することができます。日本人の教師もいて、日本語だけではなく日本文化も熱心に教えているとのこと。学校内には

和室と日本庭園もあり、日本文化への関心の高さがうかがえます。
なお、平成十八年四月に、名取市とマウントウエイバリー校はこれまで双方の話し合いで行ってきた交流を正式に「交流協定書」としてまとめ、将来に向けての更なる交流を約束しました。今後ますます友情が深まるでしょう。
来年三月の名取の生徒たちの冒険談は、今後、国際交流ニュースレターなどでお伝えする予定です。どうぞお楽しみに。



日本の歴史を紹介する教科書。詳しく紹介されていますが、イラストはちょっと欧美的...?



日本文化を学習するための和室もありました。左からマウントウエイバリー校プロクター総長、所在地であるモナッシュ市のバナージ市長、佐々木市長。



平成17年度の派遣事業の際(18年4月)に、名取市とマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジは交流協定を締結しました。写真は同校の日本庭園で行われた調印式の様子です。

班のポスター作り

自己紹介のあとは班ごとに班の名前やトレードマークを決め、班と班員を紹介するポスターを作りました。「班の名前はオーストラリアに由来するもの」というルールでしたが「カモノハシ」「メリー」「パイナップル」「プレーリードック」の4つの班ができました。



平成19年度名取市中学生海外派遣事業
オリエンテーション合宿の様子



異文化体験ゲーム

このゲームでは各班が一つの国になり、独自のルールや言葉を決めました。そして1人ずつ互いの国を訪問し、交流をします。左は羊の「キング・メリー」を国民みんなが敬愛する「メリー国」とそのルールです。ほかの国から訪れた人は、メリー国独特の言葉や習慣に「???」それでも次第にその国になじんでいきます。

団員たちは「行った国のルールが分からなくて不安だった」「戸惑った」「目を見たりなんとなくコミュニケーションを取っていたら仲良くなれた」「自分から話すのが大切」など、自分たちがオーストラリアで交流する際に役立つことを学んだようです。

先輩たちとの懇談会

平成17年度オーストラリア派遣団の先輩たち7人が、自分の体験談や派遣にあたってのアドバイスを話してくれました。先輩たちからは「みんなで集まると、どうしても日本人同士と話してしまっていた。その時間をもっとオーストラリアの友達と過ごせばよかったと思っている」「上手いかわないことがあっても切り替えが大切」など、ためになる話を聞くことができました。



青年海外協力隊OBの体験談



平成4年~5年の2年間フィジーへ派遣され、給水施設建設の技術指導などをしてきた下山明広さんから、言葉も文化も違うフィジーでどの様に仕事を進め、現地の人たちに溶け込んだのか、国際交流の意味とは何かなどについて、体験に基づいたお話を伺いました。

先輩からのメッセージ

今回の合宿に協力してくれた平成17年度中学生海外派遣団員から後輩へのメッセージです。

- 増田中学校出身 洞口 裕紀さん
英語が上手に話せなくてもジェスチャーなどで必死にアピールすれば通じます。国境も言葉の壁も越えて、コミュニケーションを楽しんでください。
- みどり台中学校出身 高橋 恵さん
ホームステイは会話が必要。単語だけでも十分会話は成り立つので、自分から積極的に。
- 第二中学校出身 武田 大輝さん
不安とかいっぱいあると思うけど、研修など受けていけば大丈夫だから、心配しないでEnjoyしてってください。
- 第二中学校出身 鎌田 芳和さん
無事に笑顔で帰ってきてくれることをねがっています。

- 体験したこと一つひとつはとても良い思い出になります。オーストラリアで英語はもちろんな、沢山のことを楽しんでください。
- みどり台中学校出身 後藤 美咲さん
ここで体験したことは一生の思い出になります。ホストファミリーはもちろんな、現地の生徒とも沢山の友達になって充実したホームステイにしてください。失敗を恐れずに。
- みどり台中学校出身 伊藤 百香さん
私がホームステイして感じたことは、英語があまり話せなくても意思は通じる。と言うことです。伝えようという気持ちがあれば大丈夫です。楽しんでください。
- みどり台中学校出身 古川 麻衣子さん
英語が上手に話せなくてもジェスチャーなどで必死にアピールすれば通じます。国境も言葉の壁も越えて、コミュニケーションを楽しんでください。

